



中部電力ミライズ

バーチャルPPAで再生可能エネルギー電源由来の環境価値を長期提供

～お客さまと取り組む青山高原風力発電所のリプレース支援～

中部電力ミライズ株式会社

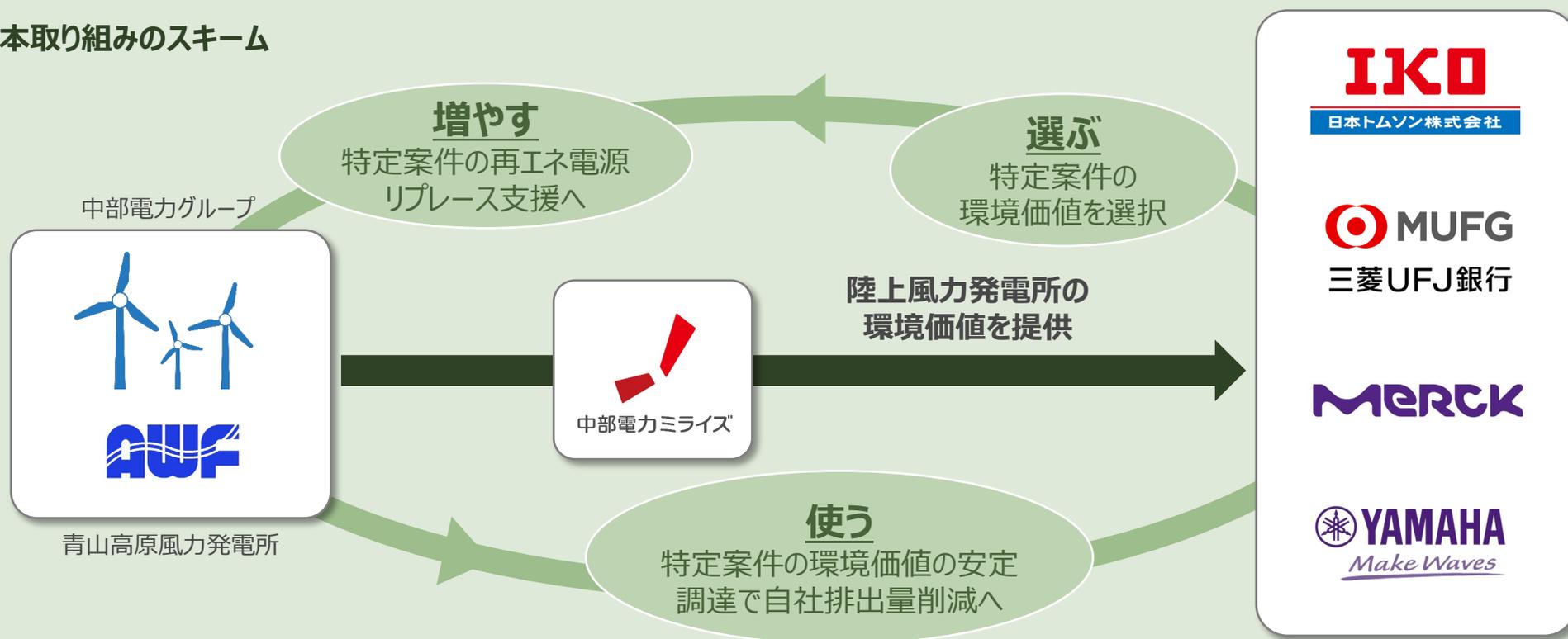
2025年1月7日



本取り組みの概要

- ・当社が、青山高原風力発電所で発電された電気的环境価値（非化石証書）のみを調達し、別途当社が調達する電気と合わせて、20年間にわたりお客さまに供給します。
- ・再エネ電源の電気と環境価値を切り分けてご提供するため、お客さまは、生産ラインの稼働の有無・昼夜・季節等によらず、柔軟に実質的に再エネ由来の電気を導入することが可能となります。
- ・本取り組みでは、お客さまに同発電所由来の環境価値を選択いただき、長期間活用することをお約束いただくことで、発電事業者にとって安定的な事業運営を期待できるようになったことから、リプレイスによる再エネ電源の長期活用の実現に繋がりました。

本取り組みのスキーム



お客様の課題

夏季のピーク時や夜間に
使用する電力の
CO₂フリー化が必要

将来的な環境価値の
長期確保が不透明

再エネの「追加性」への
貢献が求められる

脱炭素化の取り組みを
企業価値向上に繋げたい

本取り組みの特長

発電時間によらず、
実質的に再エネ由来の
電気を活用

風力発電所の環境価値のみを活用するため、
**生産ラインの稼働の有無・昼夜・季節等によらず
柔軟にCO₂フリー化**することができます。

長期安定的に
環境価値を確保

青山高原風力発電所由来の**環境価値を
20年間にわたり確保**することができます。

リプレースを通じて
追加性に貢献

**リプレースの実現により、
再エネ発電を長く継続**できることから、
新規発電所設置と同様、追加性に貢献いただけます。

お客様専用電源由来の
環境価値をアピール

お客様の専用電源由来の環境価値
として、対外的に**訴求いただけます**。

本取り組みにご参画いただけるお客さま

IKO

日本トムソン株式会社



岐阜製作所の各工場にてご活用。中部電力ミライズのオフサイトPPA、オンサイトPPAや「Greenでんき」により、電力の再エネ化を進めるとともに、追加性の貢献にも取り組まれています。

MUFG

三菱UFJ銀行



名古屋ビル、師勝ビルにてご活用。中部電力ミライズの「Greenでんき」により100%実質再エネ化されていますが、一部を本発電所由来の環境価値に切り替えるなど、追加性の貢献にも取り組まれています。

MERCK



静岡事業所にてご活用。中部電力ミライズのオフサイトPPAや、お客さまによる自家消費用太陽光発電設備の導入により、電力の再エネ化を進めるとともに、追加性の貢献にも取り組まれています。

YAMAHA

Make Waves



本社事業所にてご活用。中部電力ミライズの「静岡Greenでんき」により既に同事業所を100%再エネ化されていますが、一部を本発電所由来の環境価値に切り替えるなど、追加性の貢献にも取り組まれています。

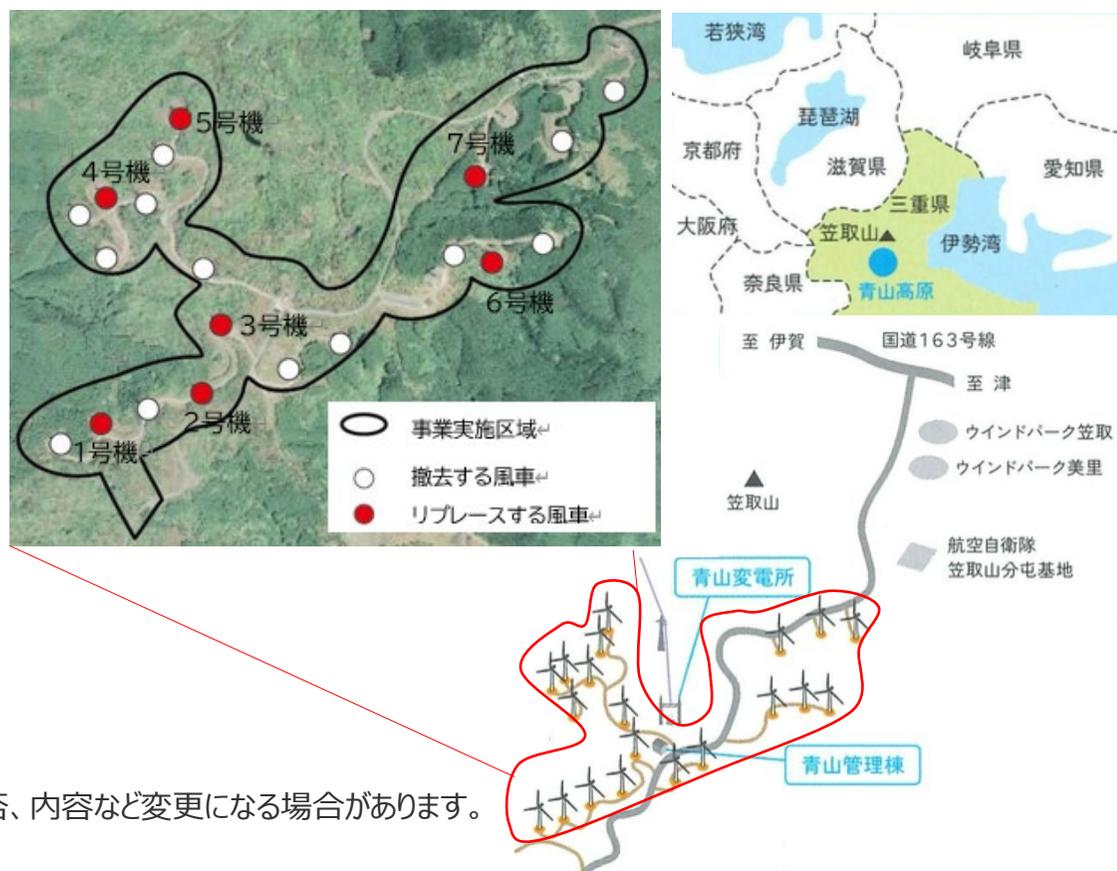
青山高原風力発電所 リプレース計画の概要

- ・株式会社青山高原ウインドファームが、2003年3月に運転開始した青山高原風力発電所（三重県津市・伊賀市）について、電源を長期的に活用するため、既存の発電設備を一度撤去し、新しい発電設備に更新するリプレースを予定しています。
- ・青山高原風力発電所の近郊は平均風速7.6m/sと本州屈指の好風況地域です。発電所から程近い「笠取山」の地名は、若狭湾から伊勢湾へ抜ける風の通り道であり、「笠が取れるほど強い風が吹く」ことに由来していると言われています。

計画概要

事業地	三重県伊賀市奥馬野字布引853-1
合計出力	リプレース前：15,000kW（20基） リプレース後：15,000kW（7基）
年間想定発電量	約 5,000万kWh （一般家庭16,000世帯分）
着工日	2025年3月（予定）
運転開始日	2027年3月（予定）
発電事業者	株式会社青山高原ウインドファーム （主要株主） 株式会社シーテック（中部電力グループ）、 津市、伊賀市

立地地点



※上記の内容は事業計画段階のものであり、事業そのものの実施可否、内容など変更になる場合があります。

【ご参考】「みんなで脱炭素プロジェクト」の概要

- ・ 電気を届ける当社だけでなく、電気をお使いのお客さまにもご協力いただきながら、中部エリア内の再エネ電源の開発や、再エネ由来の電気の有効活用などを進めていく取り組みであり、2024年2月から開始しました。
- ・ 再エネの「追加性」の加速に向けた機運を醸成し、地域の皆さまも巻き込んだ活動へ発展させることを目指してまいります。

みんなで脱炭素プロジェクトが目指すもの

Step1

お客さまが再エネの電気を

選ぶ

みんなで
脱炭素
PROJECT

Step2

お客さまがその電気を

使う

Step3

その収益で再エネをさらに

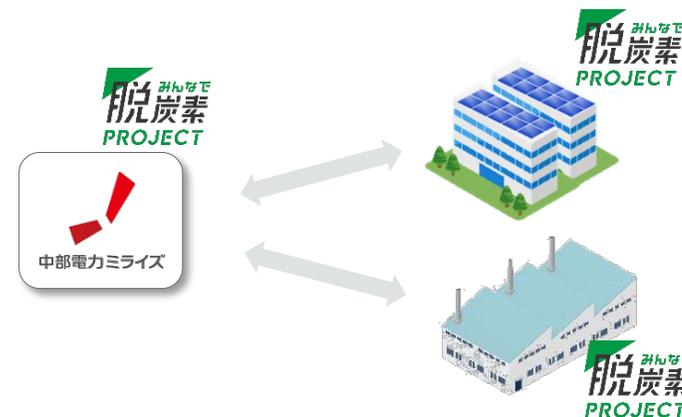
増やす



一緒に取り組む企業とともに

再エネを「増やす」の活動に見える化

ご参加いただく企業とプロジェクトロゴの共同使用すること等を通じて、再エネを増やす取り組みを世の中に見える化し、地域全体に活動を拡げることを目指します。



お客さまの企業価値向上へ

テレビCM等を通じて本プロジェクトに対する認知・理解を促進することで、ご参加いただく企業のステークホルダーに対する脱炭素施策のPR活動を支援いたします。